

妊娠出産子育てシェアサポート事業【富士宮市】

総事業費	3,000 千円
交付金額	1,500 千円

地域の実情と課題

当市は富士山の湧き水を活用した企業が多く、また北部の広大な朝霧高原においては酪農及びキャンプ等といったアウトドア系の産業が発達しているのが特色である。市内で働く労働者を増加させるためには、子育て中の女性の社会参画が必要不可欠である。年齢階級別労働力率についても、30～34歳の女性の数値が国が73.5%であるのに対し、当市は71.8%となっており、国の平均に達していないのが現状である。また、以前の3世代同居からの核家族化への家族形態の変容、家族の転勤等に伴う転入により、ワンオペ育児が増加し、子育て中の母親の孤独が高まり、悩みや不安から社会復帰を考えるゆとりがない状況にある。これに対し、当市では総合計画で「女性が輝く、さくや姫プロジェクト」と題し、女性が持つ力を最大限発揮できる環境を作り、女性の社会復帰を後押しするような事業を行ってきた。

事業の特徴

子育て中の母親がスキルアップ及び自分の社会参加について相談する場を提供し、自身が講師となり講座を開く機会を提供することで、社会参加の一助とする。

事業の効果

参加者に向けたアンケートを実施し、参加前に比べ参加後の満足度が高くなる傾向および、参加回数を重ねるにつれ満足度が高くなっていく傾向が見られたことから、参加者が不安に思っていること、挑戦したいことに対する問題を軽くすることができたと考ええる。

また、「就職復職・スキルアップに関わる相談が人気であり、内容としては、今後の方向性について、やりたいことの整理、キャリア形成、自分の事業の集客など、女性の社会参加に関わる内容が見られたことから、一定の成果は見られたと考ええる。

目的・目標

母親たちの社会復帰や妊娠・出産・子育ての各ステージで生じる悩みや不安を解消するため、やりがいや喜びを当事者同士で分かち合い、支え合う機会を提供すること、地域全体を巻き込んだ温かな支援のネットワークを形成することで、当事業に係る女性を社会とつなぎ、女性の社会参加や活躍を促進すること。

連携団体

- ・NPO法人母力向上委員会
市内NPO法人。事業委託先。
- ・女性応援会議
市が事務局を務める女性活躍について幅広い意見を募るための会議。

今後の課題

新型コロナウイルス感染症の影響か、子どもを連れて来ても安心して参加できる催しに対する需要が高いことを把握できた。社会との関係が希薄になりがちな母親たちの孤独さを解消しながら、社会への参加を後押しできるものが必要であると考ええる。

事業の概要

【妊娠出産子育てシェアサポート事業】

- ・母親たちの社会復帰、妊娠・出産・子育ての各ステージで生じる悩みや不安、やりがいや喜びを当事者同士で分かち合い、コロナ渦の中で支え合う機会の提供。
- ・社会全体を巻き込んだ温かな支援のネットワークを形成すること及び、当事業に係る女性を社会とつなぎ、女性の社会参加や活躍を促進することを目的として、講座及びイベントを行う。

【母親の自分の時間を過ごす居場所づくりの様子】



【年間ガイド】

令和4年度妊娠・出産・子育てシェアサポート事業

Living Square

PLAYDAY・FORMEDAY・TRYDAY 2022

2022年7月
2022年3月
19回開催

時間：10：00～14：00
場所：さあどぶれいすSAN
(富士宮市野中1136-5)

親子の遊び場・妊婦育児相談
×ケアサロン×ちよこネットワーク×Cafe

子育て自分時間×個別相談
×オンライン講座×Cafe

PLAYDAY 講座子ビュースタイル
FORMEDAY
TRYDAY

【支援ネットワーク団体一覧ガイドブック】

新刊第一号まで

HAND IN HAND

mama to minna to

富士宮子育て支援者ネットワーク
子育て応援ガイドブック

富士宮市教育委員会が中心となりつくりたい

【親子の居場所づくりの様子】

